

# 監査報告書

2022（令和4）年5月27日

学校法人立教学院

理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人立教学院

監事（常任） 菊地 進

監事 北岡 修一

監事 平田 徳久

私たち監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人立教学院寄附行為第21条の規定に基づき、学校法人立教学院の2021（令和3）年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査を行いましたので、その結果につき以下の通り報告します。

## 1. 監査の方法

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会及びその他重要会議に出席し、必要に応じて意見を述べたほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表）並びに財産目録について確認するなど、必要と思われる監査手続きを実施しました。

## 2. 監査の結果

- （1）学校法人立教学院の業務に関する決定及び執行は適切な手続きを経て行われており、業務及び財産並びに理事の業務執行に関する不正の行為はなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- （2）計算書類等は、会計帳簿との記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

## 3. その他所見

コロナ禍の困難な中、児童、生徒、学生への支援並びに教育への適切な対応に当たるとともに、創立150周年さらにはその先を見据えた中長期の学校運営の計画、事業計画の策定に取り組みられてきたことを評価します。そして、その成否は学院全体の連携及び協力の力に掛かるところが大きくなってきており、そうした意識をより強く持って児童、生徒、学生の教育に当たられることを望みます。

以上